

令和５年度 第２回恵庭市社会福祉審議会

高齢者福祉・介護保険専門部会 会議録

1. **開催日時** 令和５年９月６日（水） 午後２時００分～午後３時３０分

2. **開催場所** 恵庭市役所 ３階 ３０１・３０２会議室

3. **出席者**

【出席委員】 山内委員、齊藤委員、木下委員、米山委員
紺藤委員、本間委員、玉熊委員（計７名）

【欠席委員】 ３名

【傍聴者】 ０名

【報道関係】 ０名

【事務局】 保健福祉部長、保健福祉部次長、介護福祉課長、
介護福祉課 介護保険担当主査、高齢者相談・介護認定担当主査、
生きがい対策担当主査、指導担当主査・スタッフ（１） （計８名）

4. **内 容**

- （１）開会
- （２）部会長挨拶
- （３）内容

<報 告>

- １．地域密着型サービス事業者等の新規指定及び休止について
- ２．令和４年度介護保険事業の実施状況（決算）について
- ３．令和５年度介護保険事業の見込み（予算）について
- ４．第９期恵庭市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定に向けた各種アンケート調査について
- ５．恵庭市地域包括支援センター設置運営法人の公募について
- ６．恵庭市老人憩の家指定管理者の更新について

(4) 詳細

<報 告>

1. 地域密着型サービス事業者等の新規指定及び休止について

介護保険法により、居宅介護支援、介護予防支援、地域密着型サービス、介護予防・日常生活支援総合事業に関する指定権限は市町村とされている。このたび、新規指定2件（居宅介護支援事業所、訪問介護相当サービス）、休止期間延長1件（訪問介護相当サービス）を実施したことを報告した。

なお、新規指定2件については、1件が休止期間中に指定期間満了により廃止となったため、再度指定申請されたもの、もう1件が運営法人の変更による廃止及び新規申請であったことから、事業所は増加していない。

2. 令和4年度介護保険事業の実施状況（決算）について

令和4年度の介護保険事業の実施状況（人口、認定者数、サービス利用人数・回数、サービス給付費等）について報告を行った。

【概要】

- ・要支援・要介護認定者について、計画値より介護度の低い人が多かった。
- ・圏域別に見ると、最も高齢化率が高いのは「中島・恵み野圏域」であるが、認定率は最も低かった。
- ・要支援・要介護認定者のうち 16.0%が、介護認定を受けているものの介護サービスを利用していない。
- ・令和4年度決算の介護給付費は、令和3年度決算と比較して、約9300万円増加した。
- ・令和4年度決算の介護給付費は、令和4年度予算と比較して、約2億7000万円減少した。

3. 令和5年度介護保険事業の見込み（予算）について

令和5年度の介護保険事業の予算（サービス給付費）について報告を行った。

なお、予算額については、第8期計画の計画値をもとに、前年度の実績等を加味して修正を加えている。

【部会長】 只今事務局より説明のあった報告について、質問・意見等はあるか。

⇒質問・意見等なし。

4. 第9期恵庭市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定に向けた

各種アンケート調査について

第9期計画の策定に向けて実施した6つのアンケート及び1つの調査の結果・分析について報告を行った。

【概要】

- ・「あなたのご家族や生活状況について」の項目では、介護・介助が必要になった原因が「高齢による衰弱（フレイル）」であると答えた割合が 31.7%であり、前回調査（3 年前）に比べて 15.2%増加した。
- ・「からだを動かすことについて」の項目では、外出の回数が減っていると答えた人が 36.1%で、その理由は「足腰などの痛み」「外での楽しみがない」などが多かった。
- ・「たすけあいについて」の項目では、家族や友人・知人以外で何かあったときに相談する相手が「いない」と答えた人が 41.5%いた。
- ・「認知症にかかる相談窓口の把握について」の項目では、相談窓口を「知らない」と答えた人が 69.8%だった。
- ・「地域包括支援センターについて」の項目でも、地域包括支援センターを「知らない」と答えた人が 52.5%だった。
- ・要支援・要介護者向けのアンケートで、今後の在宅生活の継続に必要なサービスは「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が最も多く 24.5%だった。
- ・介護者向けのアンケートで、働きながら介護を続けていくことに対して、「問題はあるが、何とか続けていける」と答えた人が 58.3%と、前回調査より 4.3%減少した。
- ・事業所向けの調査で、外国人の雇用をしている事業所は、のべ 25 事業所で 26 人を雇用していることがわかった。

【部会長】 只今事務局より説明のあった報告について、質問・意見等はあるか。

【委員】 前回調査と比べて回収率は変わっているか。

また、アンケートの調査結果に新型コロナウイルス感染症の影響は出ているか。

【事務局】 前回調査も 60～70%前後の回収率であり、ほぼ変わらない。

また、アンケートの調査結果からは新型コロナウイルス感染症の影響が出ている項目は見受けられなかったが、「からだを動かすことについて」の項目のように、自由記載にて新型コロナウイルス感染症について記載されている回答は見受けられた。

5. 恵庭市地域包括支援センター設置運営法人の公募について

令和 6 年度以降のひがし地域包括支援センター設置運営法人の公募について、2 法人から応募があり、7 月 19 日に書類審査及びヒアリングを行った後、8 月 7 日の委員会にて「A 事業所」が選定された。なお、選定にあたっては 3 点の付帯意見があったことから、決定に際しては意見を付して行う予定。

6. 恵庭市老人憩の家指定管理者の更新について

老人憩の家の指定管理期間が今年度末であることから、島松・恵み野・柏陽・

和光・大町の5館について、指定管理者の更新を行う。なお、指定管理期間については5年であるが、柏陽憩の家については、新たに整備される複合施設へ機能を移転する予定であることから、3年の期間としている。公募説明会を8月10日実施した。今後も随時報告する。

【部会長】 只今事務局より説明のあった報告について、質問・意見等はあるか。
⇒質問・意見等なし。

(5) 閉会

【部会長】 その他、ご意見・質疑がなければ事務局より連絡事項はありますか。

【事務局】 9月5日にハイキング事業を実施し、札幌市の円山動物園へ行きました。久しぶりに動物園へ行ったという高齢者の方もいて、おおむね好評でした。

また、今後の事業予定で、9月10日にVR認知症体験会、9月30日に映画上映会を行います。

次回の専門部会は、10月を予定しております。

時期が近づきましたら日程等についてお知らせいたします。

【部会長】 それでは、以上をもって閉会とします。